

がん

参加形式: 任意

指標名: キャンサーボード a.新規に悪性腫瘍と診断された患者のうち、複数の診療科による治療方針の検討がなされた割合

定義の要約:

分子) 分母のうち複数の診療科(内科、外科、腫瘍内科、放射線科等)による治療方針の検討がなされた患者数

分母) 当該施設で、5 大癌(胃癌、大腸癌、乳癌、肝臓癌、肺癌)と診断され初回治療が行われた患者数

指標の定義・算出方法:

1. 当該施設で、5 大癌(胃癌、大腸癌、乳癌、肝臓癌、肺癌)と診断され初回治療が行われた患者を分母とする。
(ア) がん登録(全国がん登録)の抽出条件は以下とする。
 - ① 当該施設で診断された
 - ② 当該施設で初回治療が行われた
 - ③ 進展度・治療前:限局、所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移
(イ) 転移性肝腫瘍、転移性肺腫瘍などの転移患者は含まない。
2. 分母のうち、複数の診療科(内科、外科、腫瘍内科、放射線科等)による治療方針の検討がなされた患者を分子とする。
(ア) キャンサーボードが開かれたことが診療録より確認できる。
(イ) キャンサーボードの議事録等がある。
(ウ) 厳密にキャンサーボードという名でなくとも、少なくとも 2 つ以上の診療科が一堂に会して治療方針について話し合いを行う合同カンファレンスでも構わない。

| 式 | 単位 |
|---|-----------|
| $(\text{分子} \div \text{分母}) \times 100$ | % (パーセント) |

その他:

用語定義

キャンサーボードとは、手術、放射線療法及び化学療法に関わる専門的な知識及び技能を有する医師や、その他の専門医師及び医療スタッフ等が参集し、がん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認するためのカンファレンスのことを言う。

意義:

診断が困難な患者・治療方針の難しい患者等において、複数の診療科によって最適な治療方針を検討することで、患者や家族にとって質の高い医療を提供することができる。

キャンサーボードで症例毎に最も適切な治療法を選択されているかを問う。

留意点:

手術療法、化学療法、放射線療法などの複数の治療方針の選択肢があり得る主要 5 大癌を対象としている。
内視鏡的手技のみで治療が終了し得る進展度が上皮内の腫瘍は対象外としている。

参考資料: